

2026年6月30日

丸紅アセットマネジメント株式会社
第一ライフ丸紅リアルエステート株式会社

第一ライフ丸紅リアルエステートグループの不動産私募ファンド
DMRE ファンド 4号組成のお知らせ

第一ライフ丸紅リアルエステート株式会社（代表取締役社長：金子伸一郎）傘下の丸紅アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長：横山禎之）は、第一生命保険株式会社（代表取締役社長：隅野俊亮）を主要投資家とする私募ファンド「DMRE ファンド」*1について、2026年6月にDMRE ファンド4号を組成し、運用を開始しました。

*1「DMRE」は「第一ライフ丸紅リアルエステート」の略称

DMRE ファンド4号は、首都圏・関西圏・中部圏の賃貸レジデンス合計15棟の信託受益権を投資対象資産とする私募ファンドです。資産規模は約230億円であり、DMRE ファンドは1号から4号の累計で約890億円の資産規模となりました。

今回対象のファンドも豊富な投資実績を有する第一生命保険を主要投資家とし、加えて、株式会社かんぼ生命保険（取締役兼代表執行役社長：大西徹）及びその他機関投資家をエクイティ投資家として組成に至りました。かんぼ生命保険は、安定的な資産運用収益の確保、さらなる運用収益向上を目指すべく、資産運用の多様化の一環として不動産等の資産運用における対象の拡大を進めており*2、DMRE ファンド4号は、同社初の匿名出資組合への直接出資案件となります。国内有数の運用実績を有する丸紅アセットマネジメントがアセットマネジャーを務めます。

<関連プレスリリース>

- *2 かんぼ生命保険の資産の運用方法の届出について
https://www.jp-life.japanpost.jp/information/press/2025/abt_prs_id002032.html
- かんぼ生命初の匿名組合出資による不動産ファンドへの直接投資について
https://www.jp-life.japanpost.jp/information/press/2026/abt_prs_id002181.html

DMRE グループは、株式会社第一ライフグループ（代表取締役社長グループ CEO：菊田徹也）が保有する資産運用・金融仲介機能と、丸紅株式会社（取締役 代表執行役社長：大本晶之）が保有する幅広いネットワークや知見を通じて蓄積した実績やノウハウを融合し、スケールメリットを活かした持続的な成長と新たな価値創造を目指しています。その中で、DMRE ファンドは、アセットマネジメントを成長の主軸とする DMRE グループの象徴となるファンドであり、国内不動産バリューチェーンの強化・拡大を牽引する成長ドライバーとして位置付けられています。

今後は、賃貸レジデンスやホテル、オフィス、物流施設、データセンターなど多様な不動産アセットへの投資を検討するとともに、DMREグループの開発物件の組入れも進めながら、投資家のニーズに合わせた多様な不動産運用商品を提供し、2030年度末までに4,000億円規模への拡大を目指してまいります。

以上